

ロールバーパット取付け 加工例

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
 弊社では、8色のロールバーパットを5.5Mと1.2Mの2種類の長さでご用意しております。
 5.5Mはメインアーチ等、1.2Mはサイドバー等に御使用頂けます。
 35φロールバーには35φロールバーパットを2種類の長さで御用意しております。(カラーは黒のみ)
 また、パットの接着面の保護、仕上げ用に8色のアセテートテープもご用意しております。

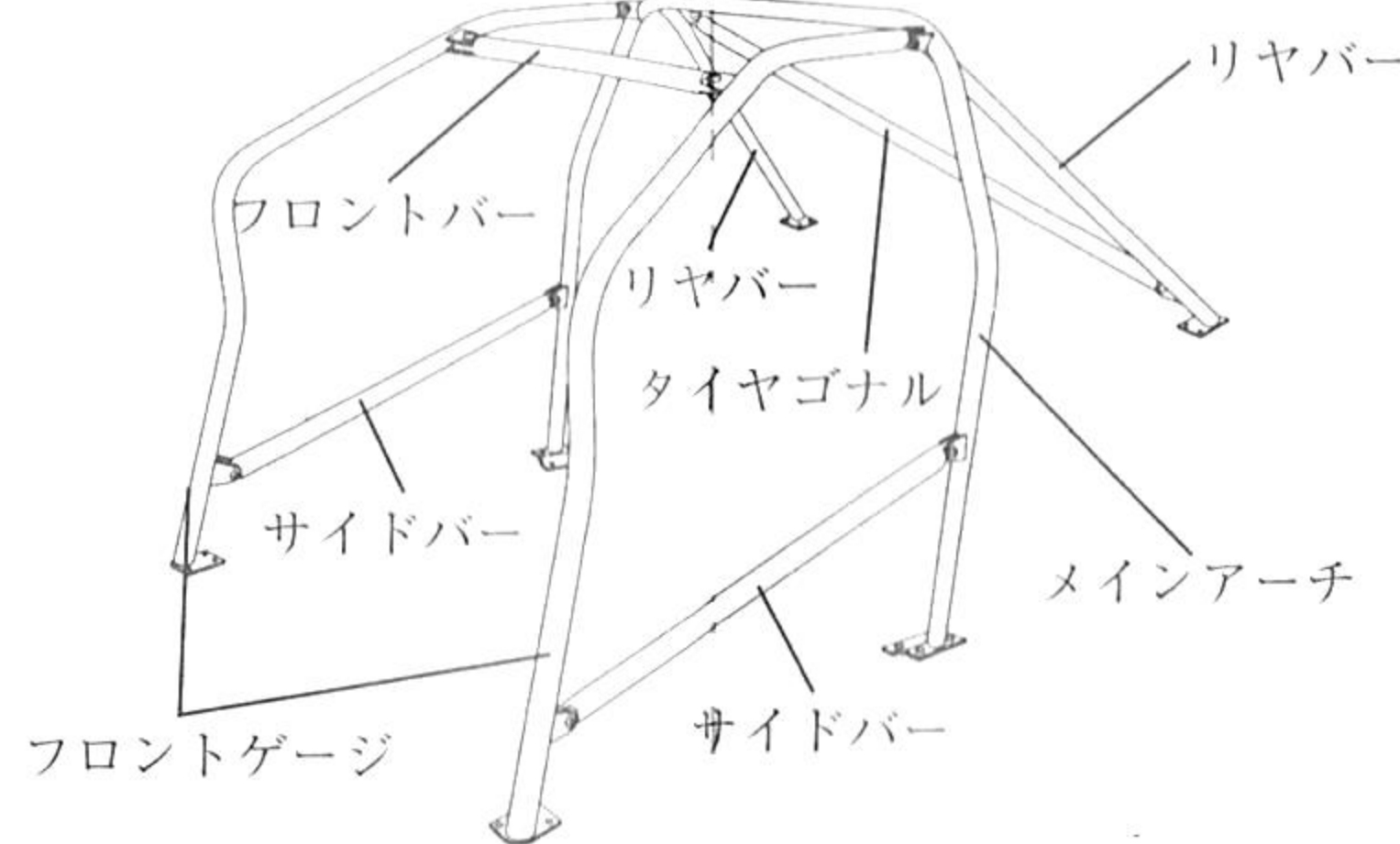
以下に記載致します、加工方法は参考例です。ロールバーパット取付の際の参考にして頂ければ幸いです。

⚠ 注意 刃物等を使用します。ケガに注意して作業を行ってください。
 接着剤を使用する際は、接着材に添付の取扱説明書を良く読んで作業を行ってください。
 また、換気を十分行った場所で作業して下さい。

加工方法、加工を施す位置等は、車種により異なる場合があります。必ずロールバーの形状に合わせて、少しずつ慎重に作業を行ってください。

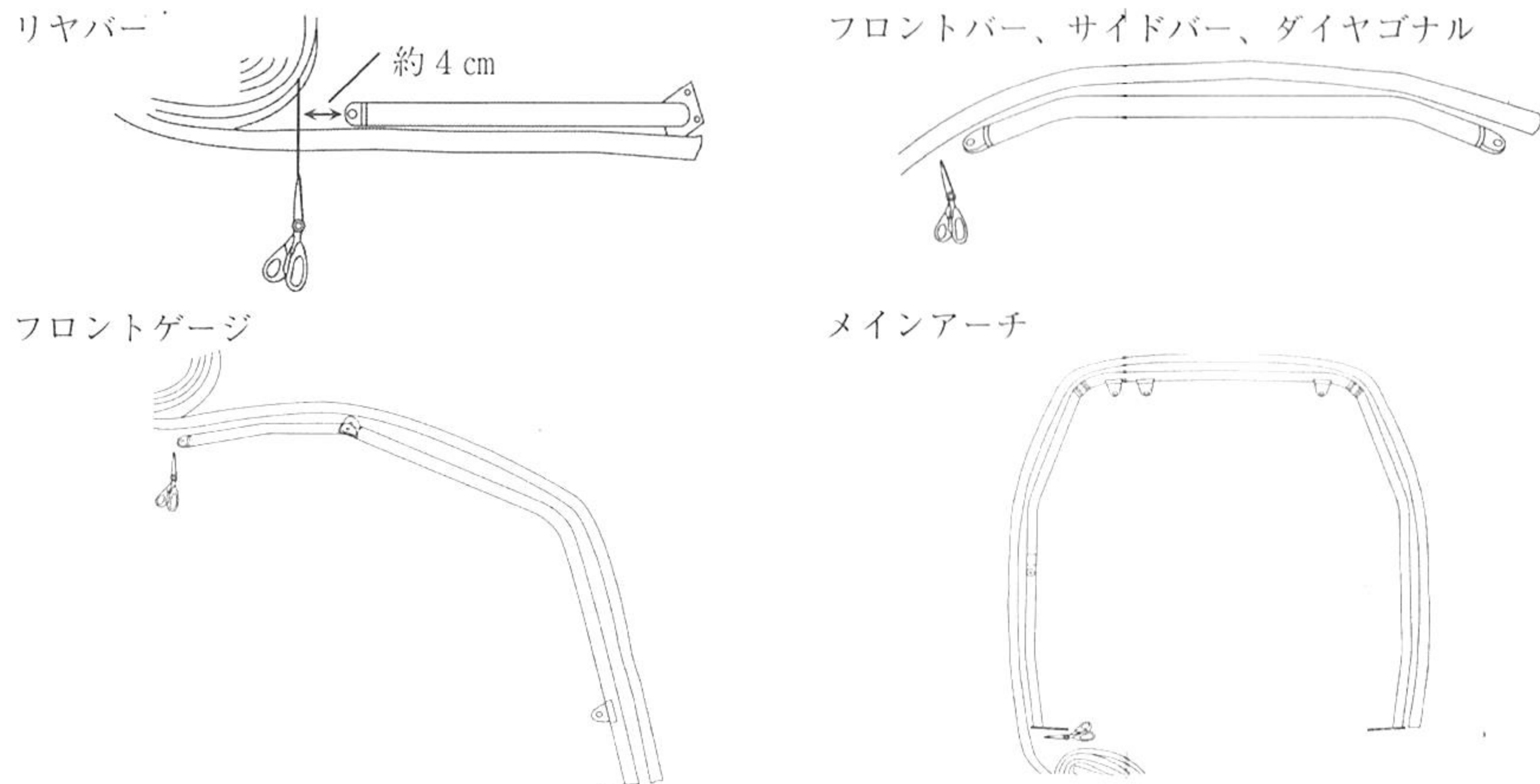
各部名称図：例9点式

本取付加工例内参照ページ番号
 メインアーチ : P 2 参照
 フロントゲージ : P 3 参照
 フロント、リヤ、サイド : P 4 参照
 ダイヤゴナル



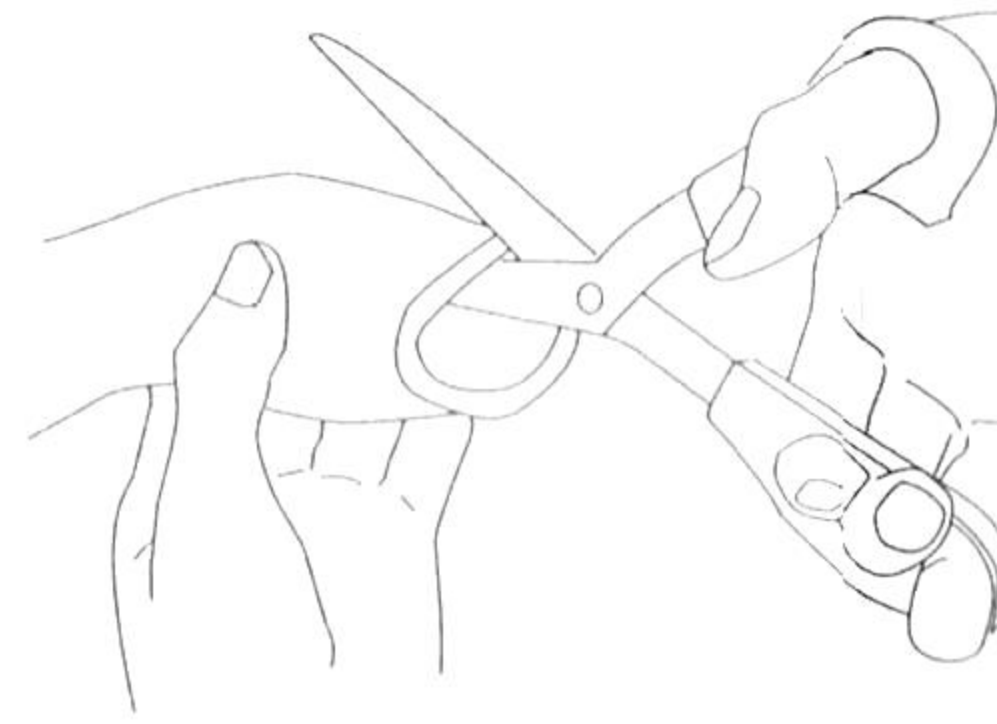
①パットのカット

ロールバーの各バーの長さに合わせてパットをカットします。(各図参照)
 フロントゲージやリヤバーのようにジョイント部があるバーは約4cmぐらい長めにカットしておきます。
 組みつけの際にジョイント部にパットを被せる為です。

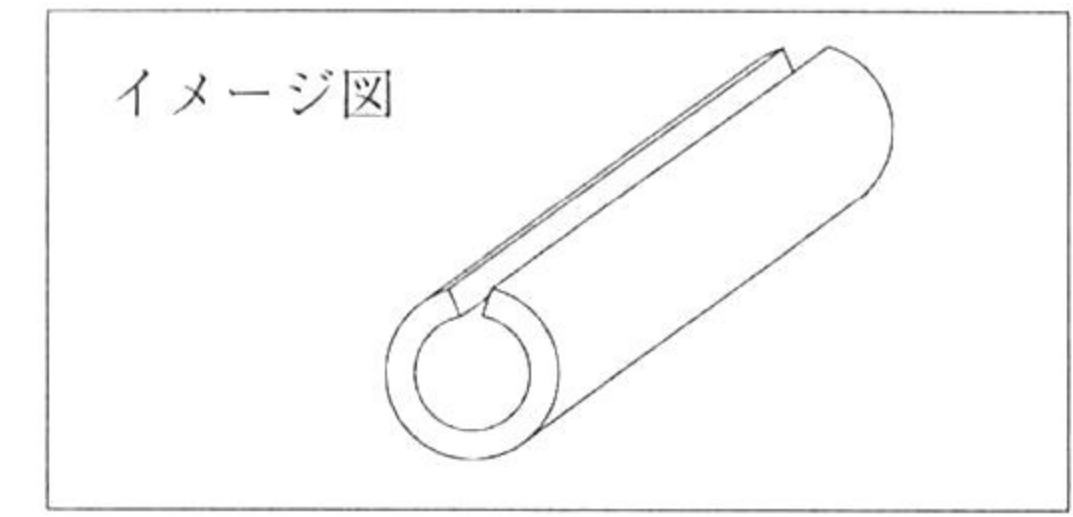


②メインアーチへのパットの取付

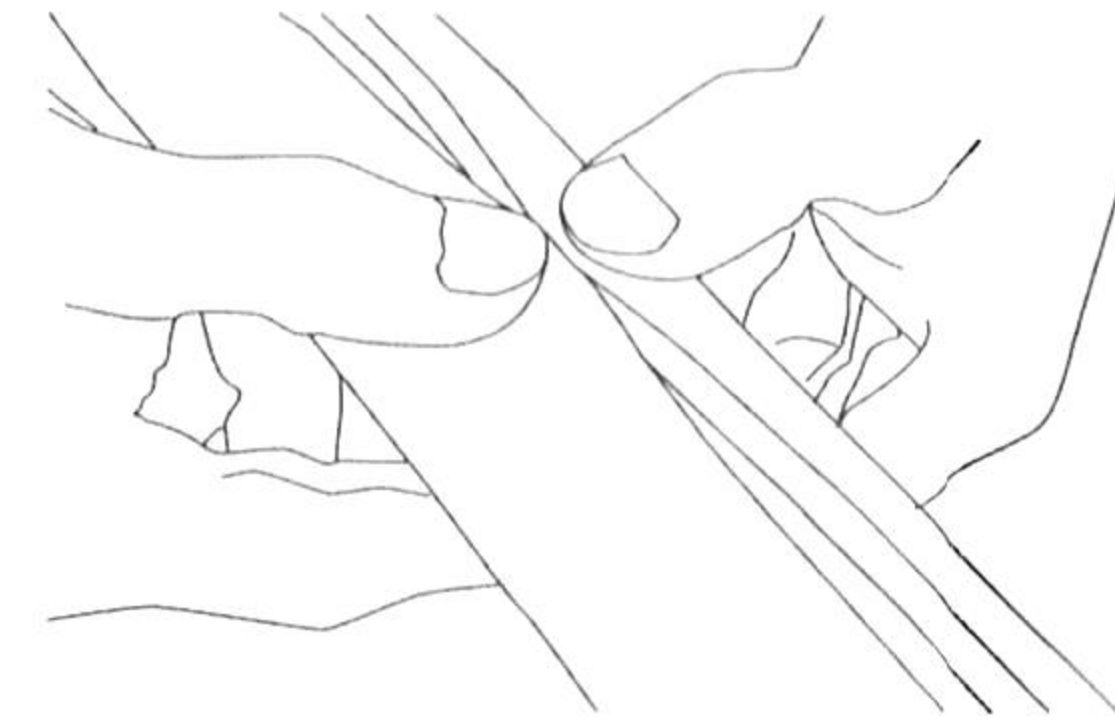
長さを合わせたパットをハサミなどで図の様に端から端までカットします。



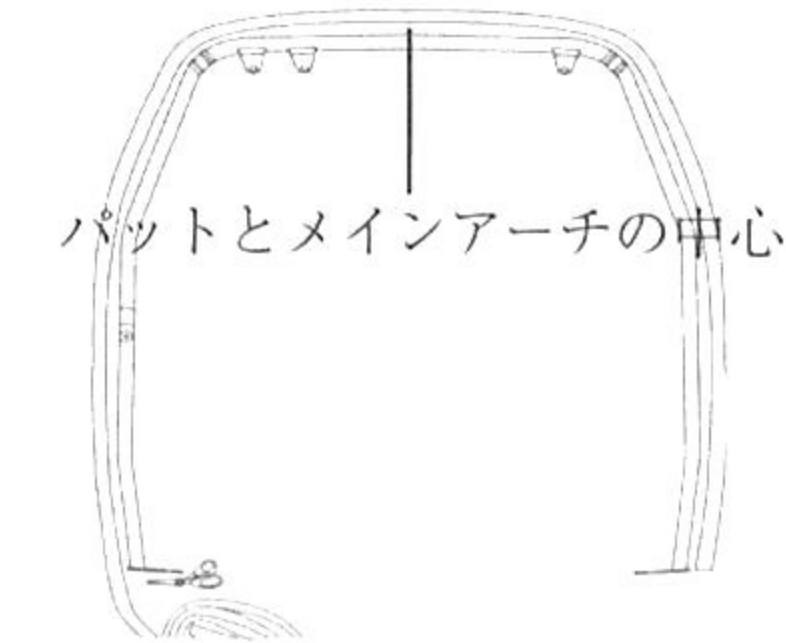
イメージ図



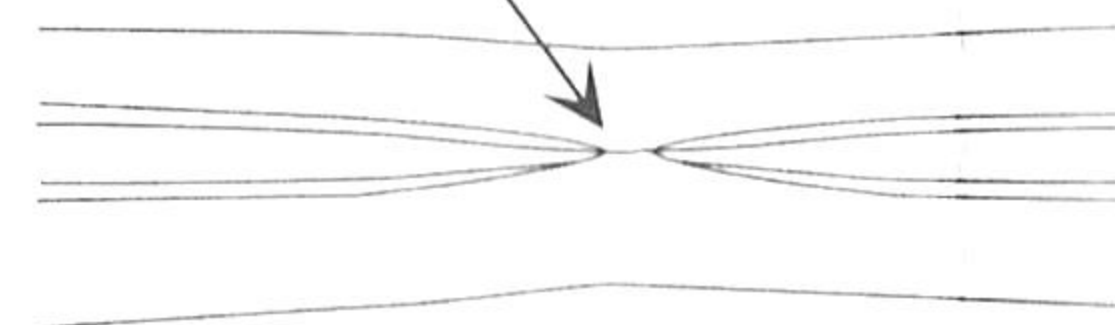
ロールバーにカットしたパットを被せ、パットの中心とメインアーチの中心が合うようにパットの左右の長さを調整して、図のようにパットの中心部を瞬間接着剤で、仮止めします。



パットとメインアーチの中心

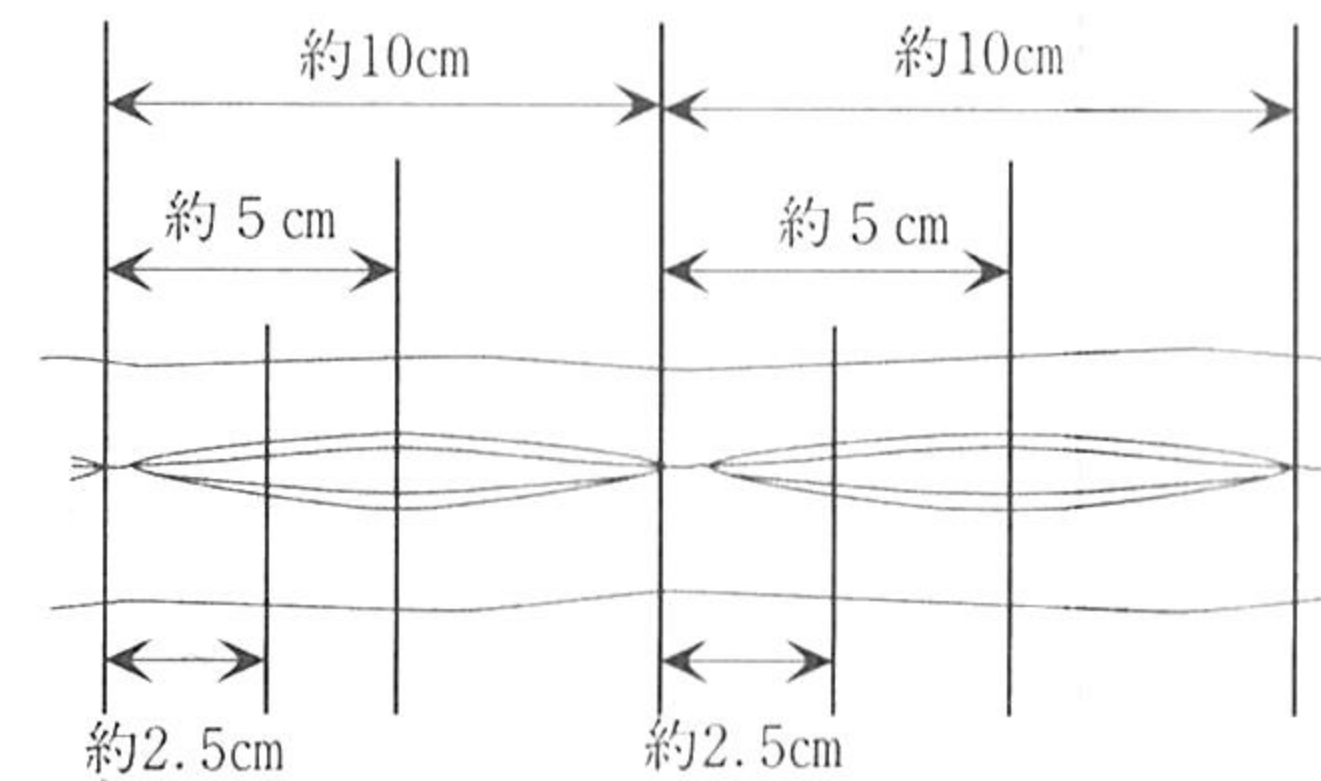


接着剤は、少量を点付け。



ルーフのある車はパットの合わせ目がルーフ側に来るようにします。

図のようにだまかにパットを瞬間接着剤で接着していきます。最初に約10cm間隔、次に5cm間隔、2.5cm間隔と範囲を狭めて接着していきます。



接着の際は、瞬間接着剤を少量点付けするのが、きれいに仕上げるポイントです。
 接着剤がはみ出さない様に注意して作業を進めて下さい。

2.5cmまで接着したら最後は、パットの断面に瞬間接着剤を塗って接着します。

仕上げに接着面へアセテートテープ(弊社製品)を貼ります。
 他のテープでは、のりが溶け出す恐れがあります。
 アセテートテープ(弊社製品)の御使用をお勧め致します。



ご注意下さい!

競技によっては、ロールバーの肉厚検査穴の表示が必要になります。
 その際は、予めアーチ右前の検査穴の位置を測って、パットに穴開け加工を施して下さい。
 検査穴の部分には黄色のマーキングがしてあります。